

# WEEKLY REPORT

もう一つお話ししなければならないことがございます。ロータリークラブセントラルの中に掲げられている3イヤーローリングプランです。もともとロータリークラブセントラルとは各クラブが掲げた目標設定を可視化・グラフ化して評価基準となるために作られました。

まずその目標に対し3年間実施して翌年RIで評価表彰する3イヤープランです。

5年前に2790地区から小椋ガバナーの時ロータリー戦略計画のプランニングを各クラブに付託されクラブが独自に設定しましたが、今年提唱されました3イヤーローリングプランとの整合性が合わず各クラブから質問が相次ぎました。私自身もはっきりと理解している訳ではありませんが、考え方として戦略計画に3イヤーローリングプランは点数化された戦術計画とみていただけたらと考えます。戦略を立てる際は、1~5年のように中長期間で達成できる目標を掲げるのが通例です

戦術とは「戦略で掲げた目標を実現するための具体的な手段や方法」を指します。

例えば地域包括支援のための一つとして新松戸・小金地区での開催イベントに積極的参加し次世代を担う青少年の育成に努める。が戦略ならば、小金わくわく探検隊への参加協力や広報としてSNSやX等を活用する。が戦術となります。

特に質問のある方は来週寒郡ガバナーの公式訪問の際質問してください。

最後に来年3月13日に松戸市民劇場にてIMの開催、5月に5クラブ合同ゴルフ大会を藤ヶ谷カントリークラブで企画しております。松戸北クラブの皆様の参加をお待ち申し上げます。

## Diversity A.C. 千葉 嵐田開人選手 大門寛子代表



《会報編集委員》平野崇広・岡本真理子・廣瀬淳一・佐久間音弥・佐藤友紀・本間沙也加

社会奉仕基金 ¥3327

Rotary 2024-2025年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

# 松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 63.6%

## 第2461回 例会 2024年 11月27日(水)

- |                        |  |
|------------------------|--|
| ■国際ロータリー会長 ステファニーアーチック | ■例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)                  |
| ■第2790地区ガバナー 寒郡 茂樹     | ■例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」                           |
| ■第13Gガバナー補佐 尾崎 裕一      | ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101                 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 柳 孝実    | ■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910            |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 関 征啓    | ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

## <第2461回 例会プログラム>

司会 小澤直之会員

12:30 点鐘	柳孝実会長
ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】	
12:33 お客様紹介	野澤新之助会長エレクト
12:35 会食	
13:00 例会再開	
会長挨拶・理事会報告	柳孝実会長
幹事報告	関征啓幹事
ガバナー補佐挨拶	尾崎裕一ガバナー補佐
ダイバーシティA.C.千葉 活動報告	大門寛子代表 鳶田開人選手
出席親睦委員会 本日の出席率発表	大川高明委員長
社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表	高橋一彦委員長
ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	平田洋一会員
13:30 点鐘	柳孝実会長

## <会長挨拶>

柳孝実会長



皆さん、こんにちは。

本日は一般社団法人ダイバーシティA.C千葉様より大門代表と鳶田選手にお越し頂いております。後ほど現在の活動についてご報告いただき、その後にウインドブレーカーの贈呈式も行いたいと思いますので、宜しくお願い致します。

また来週のカバナー公式訪問に向けて、尾崎ガバナー補佐と井奥ガバナー補佐幹事にもお越し頂いております。例会終了後にクラブ協議会を行いますので宜しくお願い致します。

クラブ協議会ではガバナー公式訪問の際のグループディスカッションのテーマについて発表させていただきますので、本番に向けて簡単にディスカッションをしていただければと思います。

さて、ダイバーシティA.C千葉様と松戸北ロータリークラブの関係は2020-21年度の三村会長、崎谷幹事年度に松戸北クラブの名入りウインドブレーカー上下セットを支援させていただきました始まりしました。元々は平田会員から松戸市内に東京パラリンピックを目指す選手も所属するパラ陸上競技クラブチームがあるという情報をいただいたのが出会いのきっかけでした。当時社会奉仕委員長だったことから、私が窓口となって、大門代表からいろいろ話を伺わせていただくことになりました。ダイバーシティA.C千葉様の状況を皆様にご報告させて頂いたり、有志の会員で練習の視察に行かせて頂いたり、テレビで取材され番組が放送されれば、クラブ内で映像を流したりと、会員の皆様にダイバーシティA.C千葉様をより深く知っていただく為の周知活動をさせていただき、理事会で支援を承認いただいた時には本当に嬉しかったことを覚えています。

当時の印象として、大門代表の子ども達への想いの強さがとても印象に残っています。特別支援学校の教員を退職され一般社団法人を設立し、当時はまだ設立2年目でしたが、知的障害者グループホームの運営とパラ陸上競技クラブチームの運営をされ、何名かの選手はグループホームで共同生活をされており、大門さんが生活面、食事面の面倒も見ておられました。

一番の要望は、選手と地域の触れ合いの場を作ってもらえるとありがたいと仰っておられました。大門さんといずれ特別支援学校での陸上教室を共催できると良いですねと話していたのですが、陸上競技に取り組んでいる時の選手はとて生き生きとして輝いておられ、選手の皆さんが同じ障害を持つ生徒の皆さんの目標となれたり、選手にとっても目標となることで色々な刺激をもらえたり、いずれそのような活動が共催でき、選手の皆さんがより一層輝ける場を作ることができれば素晴らしいことだなと考えております。今後松戸北ロータリークラブとダイバーシティA.C千葉様との関係が益々発展していくことを祈念いたしまして、会長挨拶とさせていただきます

## <ガバナー補佐挨拶>

尾崎裕一ガバナー補佐



10月17日のラーニングセミナーでは松戸北クラブの皆さんにおかれましては多用の中多くの方々に参加していただきましたこと感謝いたします。お陰様で141名の参加を頂き無事終了することができました。また11月21日の日本閣での松戸中央クラブ・チャリティーコンサートにも柳会長、関幹事をはじめ多くの方々に参加いただきましたこと御礼申し上げます。さて、ガバナー報告書のなかにインクルーシブなクラブ文化という項目があります。

INCLUSIVE社会（インクルーシブしゃかい）とは、社会を構成するすべての人は、多様な属性やニーズを持っていることを前提として、性別や人種、民族や国籍、出身地や社会的地位、障害の有無など、その持っている属性によって排除されることなく、誰もが構成員の一員として分け隔てられることなく…とされています。

取り合えず、ガバナー報告として、松戸北クラブはEXCLUSIVE（意味として排他的な、特権階級に限られた）な要因はなく、切磋琢磨して会員各自がクラブライフをエンジョイしているクラブであると報告しました。

私たち一人一人が持つ価値観は、私たちが歩んできた人生そのものですが、ロータリーの活動では様々な人との出会いや多様性への理解が自分の価値観を広げるきっかけになりました。

多様性という言葉は、マイノリティの保護のために出てきましたが多様性=マイノリティだけの権利ではないことも理解する必要があります。

この様なことを話しているとDEI「Diversity（ダイバーシティ）、Equity（エクイティ）、Inclusion（インクルージョン）の頭文字をとった言葉」（多様性、公平性、包括性）言葉だけが独り歩きしていくようで嫌なのですが、本当に考えなければならないのは、RIや2790地区ではないでしょうか。各クラブにDEIの問いかけをしても特段不自由は感じていないように思います。